

武良霜伯先生選評



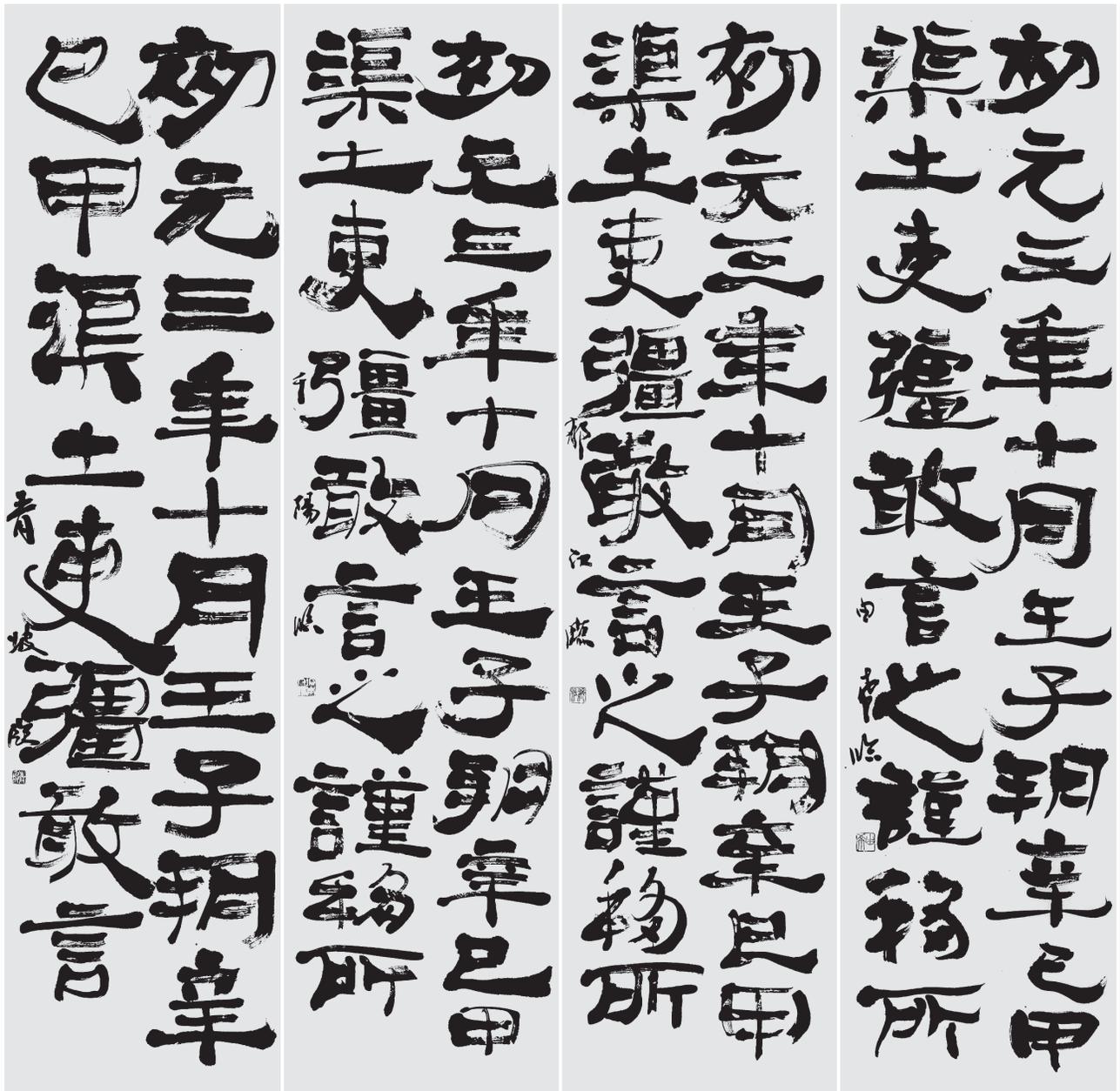
**富永美祥** 推選  
美しい線で筆の握り優しく、リラックスした旋律が楽しいです。羊毫で柔らかく表現し、句の情景を良く表出しており、最優秀作品に相応しい。

**小川東歩** 推選  
スピード感があり、筆の開閉を生かした厚みのある線は大変魅力的です。快いリズムと流れは、作品に大胆さと精気を与えます。落款も本文にマッチしている。

**由見麗華** 推選  
古隸の雰囲気漂う手法で、文字が紙面に良く定着しています。所々に軽い線を入れながら、草書体やひらがなも省略が利いており文字の表情が良いです。

**荒川貴泉** 推選  
一字目から作品全体がよく流れており、空間に筆力が及んでいます。直線と曲線を巧みに使い慣らし、時々見せる破筆も効果的で、格調高い作品です。

関根鳴城先生選評



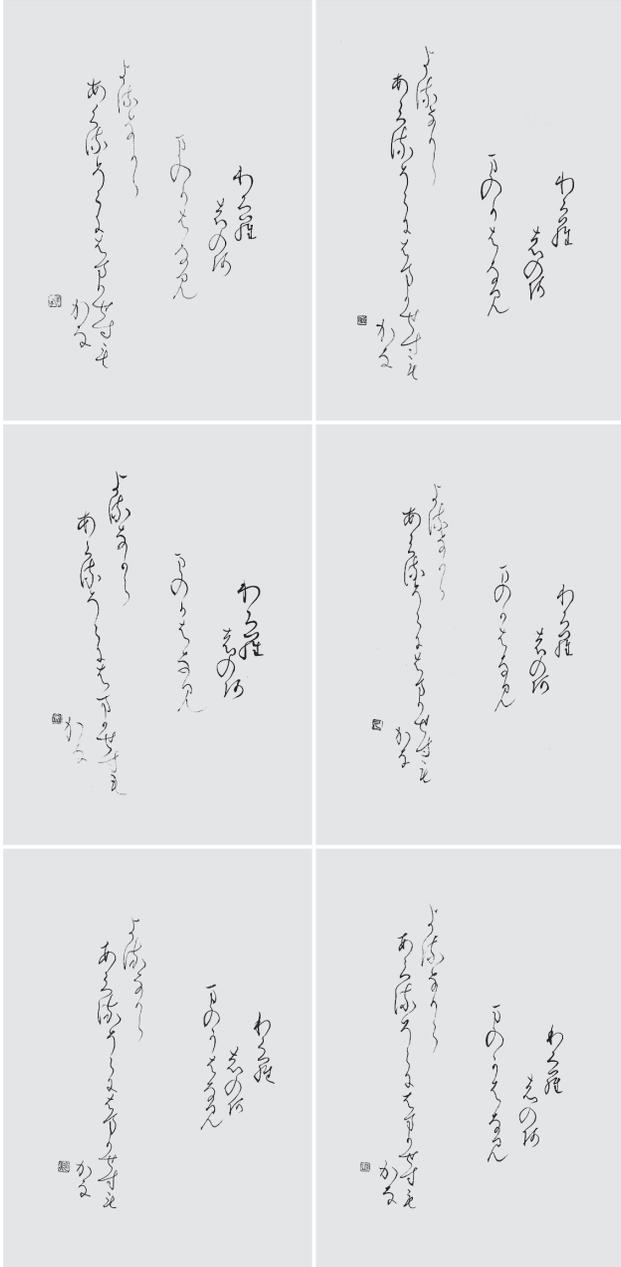
西出由希 推選  
単に大胆さや線の面白さだけを狙うものでなく、木簡の伸びや広がりや力むことなく、悠々と素直にそして余裕を持って表現されていて、良くまとまっています。

吉田郁江 推選  
柔毛筆を巧みに用筆して、柔らかさや温かさを表現した線質です。木簡の造形をしっかりと捉えていて、奥行きのある作品となり全体をまとめています。

坂本千陽 推選  
課題の木簡を、良く確認してからの作品への取り組みと思われれます。波磔や右払いの部分強調しながらも、軽やかな筆遣いを交えて良くまとまっています。

山根青坡 推選  
参考課題から文字数を減らし、大きく書くことによつて、木簡の自由性や開放感を求めた作品です。運腕を大きくしながらも無理なくまとまった作品です。

白幡陽子先生選評



**渡辺洋子** 七段  
伸びやかにしなやかに、字形・線質を意識した筆勢のリズムは、大らかに淡々とした趣。今少し墨色濃くしましょう。更に深みある展開に。

**鈴木良子** 四段  
筆勢伸びやかで明るい臨書。大胆な筆線に真摯な字びの姿が窺え好感です。後半に墨の潤いによる変化が加わると、立体感ある魅力作に。

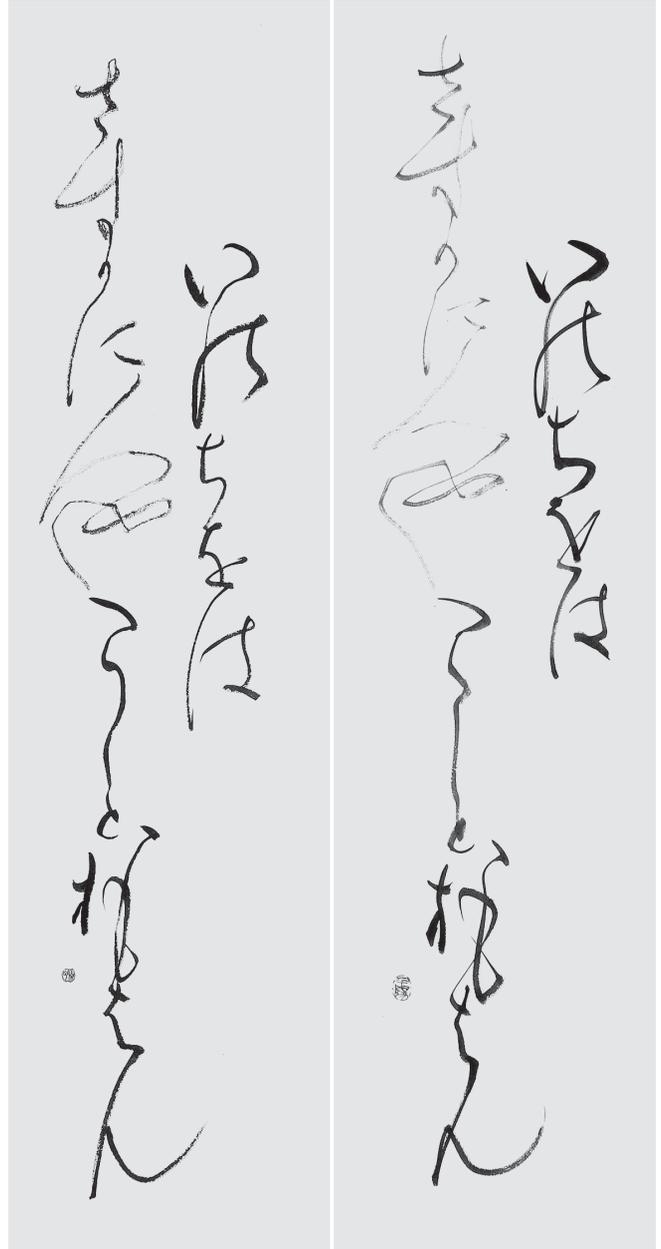
**森本裕美** 準四  
やや小粒ながら柔らかく穏やかな運筆の調べは自然。街いのない素直さが好感。行のリズムに緩急をつけ、墨色の変化が加わると更に輝く作に。

**五十嵐正明** 師範  
キリリと引き締まった筆線、緩急織りなす運筆は、古筆の趣をよく捉えます。墨色美しく、凛とした清々しい作となりました。

**栗田久仁子** 師範  
直筆を意識し穏やかな運筆は、流麗な調べを奏で心地よい。しなやかな弾力ある線条、要所での微妙な筆遣いがキラリと光り、余情漂う魅力の作。

**及川漢山** 八段  
余裕ある流暢な筆線は勁さと弾力があり、穂先の回転の巧みで、古筆のもつ微妙な変化を捉えています。楽しんで書写する感が伝わる作。

柏谷富美子先生選評



**坂本千陽** 推選  
定信のこの古筆は、線活動が字形を押し切ったとまで云われていますが、その意を受けとめ、渴筆部分の大胆な動きに生かされている意志的な好作品です。

**荒田芳子** 推選  
温和にして、沈着な線質が何よりも好ましい。墨の配分も適格で、全体が安定しました。

加藤有鄰先生選評



今村燦崇 師範  
悠然と確実に運筆されており、重厚で味わいある線質を用いて、鑿空子の特徴を見事に捉え表現しています。修練の深さを感じます。

中嶋惠華 師範  
手首の返しが自然で俯仰の法を得ており、柔らかく温か力で強く運筆されています。堂々とした臨書姿勢にも感服します。

井出翠風 八段  
大胆で構築性があり、強い感じのする臨書です。構えが大きいので作品が明るく大きく見えます。落款は堂々と書こう。

榎本浩美 準八  
やや小ぶりながらも、落筆高く線が円く、重厚な線を表現しています。真面目な臨書への取り組みが窺われます。

外崎菜緒子 準五  
落筆高く鋭い起筆からの運筆が見事で、堂々たる臨書です。見事に原帖を表現されています。不断の学習の努力が見えてきます。

篠原愛美 準二  
確実に丁寧な運筆され、深く豊かな線質をもって構成されている。原帖をよく観察しており、形体も安定している。

加藤愼鳳 師範  
伸びやかで重厚な筆致である。威風堂々としており、潤濁が美しい。適度な緊張感が作品全体を引き締めている。

有明直宏 七段  
運腕が大きく、流麗である。特に筆先の扱いが見事で繊細さと大胆さが心地良く表現されており、形体も確かで安定している。

大場洋子 準七  
落筆が高く、遠勢が効いており、また直線的な表現をうまく取り入れ、顔真卿のもつ大いなるところを巧みに表現しています。

神田恵子 準四  
適度なスピードをもって、筆の穂先が確実に中心を通っており、伸びやかで強い表現を見せています。形体も豊かである。

富永晃子 三段  
下位の段位ながら、手首を返しての運筆がスムーズで柔らかく、達人な方である。また温かみのある立体的な線が魅力的です。

小笹美津子 二段  
墨量豊かで、運筆に迷いがなく、大きな運腕から導かれる大胆さと線の明瞭さが、作品を際立たせています。この運筆力はあなただの宝物です。